

競技注意事項

本大会は2022年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び駅伝競走規準並びに本大会実施要項に基づいて行う。小学生については、児童である年齢段階を考慮した教育的配慮のもとに対応する。

【4×100mR、4×400mR、100m、1500m】

1. ウォーミングアップについて

ウォーミングアップ場は補助競技場とする。ウォーミングアップの際は各自事故防止に万全を期すこと。

2. 招集について

1) 招集所は本競技場第1ゲート（フィニッシュライン側）外側に設ける。

競技者は各組によって招集時刻が異なるため各自競技日程をよく確認し、招集完了時刻の10分前に招集所内で待機し、点呼とユニフォーム、ナンバーカード、スパイクの点検を受ける。

（スパイクのピンの長さは9mm以内とする。）

2) 招集完了時刻に遅れたチーム、競技者は、当該種目を棄権したものとみなし処理する。

3) 招集完了時刻は、競技開始の20分前とする。

3. 競技について

1) 小学4×100mRはタイムレースで予選を行い、上位チームより、A決勝（1位～8位）、B決勝（9位～16位）を行う。決勝ラウンドへの進出で1000分の1秒まで同記録の場合は、抽選により決定する。

高校女子4×100mRは、トライアルレースの結果に基づいて決勝レーンを決定する。トライアルレースで失格した場合も決勝を走ることができる。トライアルレースは棄権することもできる。棄権する場合は、招集完了時刻までに棄権届を提出する。

2) 4×100mRの2、3、4走者は自分たちで準備したマーカー（最大5×40cm）をそれぞれ1カ所だけ使用することができる。ただし、各チームはそのマークを必ず撤去すること。

【クロスカントリーリレー】

1. ウォーミングアップについて

ウォーミングアップ場は、補助競技場または競技に支障のないようにして、コース周辺で行う。事故にはくれぐれも注意する。

2. 招集について

1) 招集所は、メインスタジアム内の走幅跳ピット付近に設ける。招集所へは、第4ゲートを通して来ること。

2) 次の時刻までに招集所に集合して、点呼とユニフォーム、ナンバーカードの点検を受けること。

- 第1走者・・・11時15分
- 第2走者・・・11時20分
- 第3走者・・・11時25分
- 第4走者・・・11時30分
- 第5走者・・・11時35分
- 第6走者・・・11時40分

3) 招集後は、その場に待機して、競技役員の誘導に従うこと。

3. 競技について

- 1) 第1・3・5走者は女子、第2・4・6走者は男子とする。
- 2) スタートは、スタートライン左側からチームナンバー順に並ぶ。第2走者以降もリレーゾーンでは、ナンバー順に整列すること。
- 3) タスキリレーは、リレーゾーンで行うこと。タスキは必ず手渡すこと。投げたりしてはならない。
- 4) タスキをもらったら、必ず肩にかけて走ること。ただし、リレーゾーン手前では、手に持って走ること。
- 5) 指導者・付き添いは招集所付近には立ち入れない（本競技場内）。

4. ナンバーカードについて

競技者は、配布されたナンバーカードを胸と背につけること。チームナンバーの次の枝番号は、走順をあらわす。第1走者は1、第2走者は2、第3走者は3、第4走者は4、第5走者は5、第6走者は6を使用すること。

タイムトライアルの1500mに参加する競技者は、女子は7、男子は8を使用すること

5. 繰り上げスタートについて

繰り上げスタートは、原則としておこなわない。

【各種目共通】

1. オーダー用紙の提出について

- 1) リレー競技に出場するチームは所定のオーダー用紙を1組目の招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。決勝においても、オーダー変更の有無に関わらず、提出すること。リレーオーダー用紙は受付の際に配布する。
- 2) オーダー用紙が定刻までに提出のない場合は棄権として処理する。
- 3) リレーに出場しない競技者は100mトライアルに、クロスカントリーリレーに出場しない競技者は1500mトライアルに出場できる。エントリーは予選のリレーオーダー用紙に記入すること。確実に出場する場合のみとする。その後、番組編成し掲示する。

2. 表彰について

各リレー種目3位までに入賞した競技者は表彰を行うので、競技終了後ただちに表彰控え席へ移動し、待機すること。4～8位の入賞者は賞状を表彰控え席へ受け取りにくること。

- 1) 優勝チームには優勝カップと賞状、メダル、副賞を授与する。
- 2) 2、3位の入賞者には賞状、メダル、副賞を授与する。

3. 一般注意事項

- 1) 主催者は競技中の発病・負傷等の応急処置は行うが、以後の責任は負わない。ただし、加入した保険の範囲内で補償するが適応される事がある。
- 2) 貴重品の管理は各自で行うこと。
- 3) ゴミは、各自持ち帰ること。
- 4) 応援は、競技運営に支障がないところで行うこと。コース内に入っただけの応援、競技者への助言は禁止とする。
- 5) 器具を破損した場合は、その競技者の所属する団体より代金を徴収する。